

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	水洗化率の向上					
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係	課長名	廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4	-	1	-
【施策名】 市街地の整備	総合計画書 (ページ)	83			

予算名	款 1	総務費	項 1	総務管理費	目 1	総務管理費	事業 1	総務管理費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	-------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 公共下水道が供用開始区域内の未接続世帯	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 公共下水道へ接続した水洗化世帯数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 公共下水道へ接続する	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 水洗化世帯数/供用開始区域内世帯数
	③ そのために何をしましたか。 汲み取り世帯、浄化槽世帯への接続PR、相談対応。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①市行事(イベント等)を活用したPR ②し尿担当課との連携(チラシの配布) ③市内下水道工事組合と連携し、水洗化PR、工事協力依頼

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	件	20	10	14	/	
	成果指標	②の数値	率	99.0%	99.0%	99.1%	/	
	目 標	②の目標値	率				99.1%	99.2%
		目標値設定の考え方	平成30年度実績を基に設定した。					
活動指標	③の数値		1	1	1	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	2,770,504	2,489,899	2,633,605	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円				
		特定財源	円	2,770,504	2,489,899	2,633,605	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	3,597,204	3,315,199	3,458,005		

この仕事における市の裁量	市の裁量はない
--------------	---------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和60年度の供用開始以来、公衆衛生の向上及び環境衛生の確保を目的として、公共下水道事業を実施し、整備率100%を目指して整備促進を図った。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 供用開始から約30年経過、くみ取り世帯、浄化槽世帯数が老朽化により建て替え、改築等により接続してきている。

仕 事 の 内 容	水洗化率の向上			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	市民から、未水洗化世帯の解消に向けた相談等を受けた。 未水洗化世帯の接続促進への意見がある。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	老朽化による建て替え、改築等による接続があり、徐々に水洗化率は上昇しているが、未接続であっても生活に支障がないため急激な水洗化率の上昇は期待できない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	老朽化による建て替え、改築等による接続があり、徐々に水洗化率は上昇しているが、未接続であっても生活に支障がないため急激な水洗化率の上昇は期待できない。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 未接続世帯へ戸別訪問等の接続に向けた依頼をする。			
成果	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	高齢者2人世帯若しくは単身高齢者が増加する中で、下水道に接続するための費用負担が大きいため、接続意識の向上が図られない。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。